THE Y's MEN's CLUB of **TOKYO GREEN**

The Service Club Of The YMCA

2025.09.06

東京グリーン

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内

Chartered 1973

To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

＜ 2025.9＞　BULLETIN　2025 年 7 月～2026 年 6 月

会　　長	樋口　順英
副 会 長	青木　方枝
書　　記	村杉　一榮
会　　計	小仁　恵子
監　　査	柿沼　敬喜
担当主事	柳原みずき

国際会長	エドワード・オン	「信念、愛、行動」
アジア太平洋地域会長	田上　正	「信念と愛を持って行動しよう！」
東日本区理事	山下　真	「ワイズのらしさ再発見」
関東東部部長	鈴木　雅博	「(変革)若者から発信」
クラブ会長	樋口　順英	「若々しく、心安まるクラブライフ」

9月度　実りの秋

どんなことでも、思い煩うことはやめなさい。
何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。
フィリピの信徒への手紙4章6節

2025年9月例会★

日時: 2025年9月17日(水)　17:30～19:00
場所: 東京YMCA東陽町センター
司会:青木メン、受付:柿沼メン

開会点鐘	樋口　会長
ワイズソング・ワイズの信条	全　員
聖句・お祈り	西澤　メン
ゲスト、ビジター紹介	樋口　会長
卓話　東京 YMCA 国際ホテル専門学校副校長	望月　温　氏
テーマ「東京 YMCA の外国人留学生の動向」	
各種報告	樋口　会長
YMCA　報告	柳原　主事
ハッピーバースデー	西澤、早瀬各メン
閉会点鐘	樋口　会長

★ご出席者は9月14日までに青木メン迄

【２５/２６年度会費振込のおねがい】
振込口座は下記でお願いいたします。
みずほ銀行　深川支店＃４４６（普）３０６４４０２
名義　トウキョウグリーンワイズメンズクラブ

古平光市メンからの便り

長野県松川町に在住の古平メン（功労会員＝ゴールデンメンバー）からのお便りを紹介します。

賑やかな浅草から松川町の部奈という高原へ引越して4年が経ち朝晩の涼しさに幸せを感じます。

当初から地元の人達と交流したくカップインワンというスポーツを夢中で取り組みました。ある方からシニア大学を紹介され、工業高校が最終学歴の私は大学という言葉に魅力を感じ、入学しました。自己紹介が度々あり、その都度「社会貢献に役立つカップインワン」を語り続けました。私が所属する 5班ハート組の皆さまも共鳴してくださり、施設や学校で体験会を行ないました。ご参加された皆さんに喜んでいただいています。　（古平 記）

【例会出席率】在籍:15名　8月出席率12/13　92％
出席:8月　（メン12名、メネット0名）計12名
【ニコニコ】　￥11，000

◆２０２５年８月納涼例会報告

日　時：2025年8月20日(水)　17:00～19:30

場　所：ライオン　銀座七丁目店　2F　特別室

出席者：青木、柿沼、小仁、佐野、高谷、西澤、西本夫妻、
樋口、村杉、目黒、柳原各メン、
(ビジター)春日井　明様父子

▲　概要

①　暑い夏を涼やかに楽しむ、東京グリーン納涼例会は、このたび西本メンのご尽力と特別なお取計いにより、名門ビヤレストラン　ライオン銀座七丁目店で行いました。

②　南部風鈴による開会点鐘、開会あいさつ、ゲスト紹介、聖句とお祈りのあと乾杯にうつり、想定外にビールとワインが入り乱れました。

③　にこにこスピーチは、「猛暑を乗り切る秘訣」をテーマにしましたが、テーマとかけ離れ、ご自身の思いを熱く長く語り合い、30分延長となりました。

▲　にこにこスピーチ

西本東司メン：戦後80年特集番組が多いが、日本はよく無謀にも米国と戦争したものだ。
今年度はすこしでもみんなの役に立ちたい。

西澤紘一メン：日本は80年間戦争のなかった唯一の国だ。日本YMCAの発展に貢献した　W・メレル・ヴォーリズ氏(1880－1964)は終戦後米国との折衝に努力した。現在世界6か所で戦争が起きている。心が痛む。

高谷禎宜メン：日本は太平洋戦争開戦前に周到な分析をおこなったが、やらざるを得ない開戦だった。

青木方枝メン：(本来のテーマ、猛暑を乗り切る秘訣について)毎朝花川戸公園でラジオ体操をした。シャワーを浴びてカーブスに行き、冷たいビールを飲みすぎて太って困っている。

樋口順英メン：(本来のテーマ)クーラーで冷えすぎて調子悪いので腹巻している。

小仁恵子メン：暖かいものを食べるのがいいかとスープをつくり夏負けしないように頑張っている。

佐野　守メン：選挙管理委員しているが投票率上がりよかった。脳波の検査をやったが大丈夫だった。

目黒　卓メン：先輩諸氏よりも世代が少し若く、東大紛争の時代、卒業式のない時代だった。難民申請も受け入れない日本は困ったものだ・・・・・

柿沼敬喜メン：親友春日井さん父子ご出席うれしい。勉強が目的で開成に入学、忘れられない学生生活だった。

村杉一榮メン：戦争中、疎開を経験し、幸い父は帰ってきた。最初に言われた言葉は「このおんちゃん、どこのおんちゃんや？」だった。

春日井明メン；開成で柿沼メンと6年間一緒で今に至っている。素敵な奥さんとは幸せな日々である。

春日井(次男)さん：ウィーンの大学で研究中。まず食べる、少し太ったほうが免疫力高める。涼しいうちに散歩し気分一新で暑さを乗り切る！

【写真上】左から、青木、西本夫妻、樋口、高谷、春日井父子、柳原、村杉、西澤、柿沼、目黒、佐野、小仁各メン

（前ページからのつづき）

▲　ハッピーバースデー　今月はなし

▲　パーティーのスナップ写真いろいろ

【写真上：西本夫妻】

【写真上：佐野メン】

【写真右：高谷メン】

【写真上：左、柿沼メン、右、目黒メン】

【写真上：ゲスト　春日井メン（東京ク）父子】

◆９月例会卓話のご案内

当東京グリーンクラブは、東京YMCA国際ホテル専門学校副校長、望月　温（あつし）氏に卓話をいただきます。

当クラブ例会には5年ぶりのご登壇です。

国別留学生の動向、各学校に入学してくる留学生の課題などにつき語っていただきます。

日　時：2025年9月17日(水)17：30～

場　所：東京 YMCA　東陽町センター

卓話者：望月　温　氏

卓　題：「東京 YMCA の外国人留学生の動向」

他クラブからの参加ご希望の方は、準備等の都合上、9月14日までに下記あてご連絡ください。

東京グリーン；樋口　順英

nhiguchi@xqe.biglobe.ne.jp　℡　080－5452－2480

◆１０月例会卓話のご案内

日　時：2025年10月15日(水)17：30～

場　所：東京 YMCA　東陽町センター

卓話者：佐野　守　氏（メンバースピーチ）

卓　題：「東京デフリンピック開催にちなみ」

◆１１月例会卓話のご案内

3クラブ合同例会（江東、ひがし、グリーン）です。

日時にご留意ください。

日　時：11月13日(木)18：30～

場　所：東京 YMCA 東陽町センター

卓話者：杉野森　絵莉氏

（安治川部屋女将、新小結安青錦関が所属）

◆今後の主なスケジュール

1)　9月　5日（金）～7日（日）　YVLF（富士山Y）

2)　9月10日（水）9月第二例会（Zoom）15：00～

3)　9月17日（水）9月第一例会（東陽町）17：30～

4)　10月　8日（水）10月第二例会（Zoom）15：00～

5)　10月11日（土）第92回神田川船の会

6)　10月15日（水）10月第一例会（東陽町）17：30～

7)　10月28日(火)昌平小学校船上学習　9：00～

8)　11月　5日（水）　同　予備日

9)　11月13日（木）★11月合同例会（東陽町）18：30～

10)　11月15日（土）伊東クラブ50周年記念大会

（樋口　記）

VIVA CLASSICAL

何というい〻心持の朝だ、
グリーグの「ペール・ギュント」から「朝」

エドワルド・グリーグ作曲（1843－1907）
劇付随音楽「ペール・ギュント」 作品23(1875)
指揮：サー・ジョン・バルビローリ （1899－1970）
ハレ管弦楽団（1968年録音）

「ペール・ギュント」 はノルウェーの文豪ヘンリク・イプセン（1828－1906）が1867年（39才）につくった戯曲です。
豪農の息子ペール・ギュントは、老母オーゼと暮らし、ロクな働きもせずハチャメチャな生活を送っていました。

やがてアラビアやアメリカなどへ旅に出て巨万の富を得ますが、詐欺に逢ったり、帰路、船が難破し無一文になり、年老いて身一つで帰郷します。そして最後は、昔の恋人ソルヴェイグの膝の上で波乱万丈の生涯を閉じる。というストーリーです。

グリーグは1875年イプセンからの依頼により劇付随音楽全26曲を作曲し、大成功しました。のちに8曲を選びコンサート用に組曲をつくりました。

その第一組曲の1曲目が「朝」です。遅刻寸前に校門に駆け込んだ高校生活が思い出される清々しい朝の曲です。

しかし劇中の「朝」は、CDジャケットのような北欧の涼しげな朝ではなく、灼熱モロッコ海岸の朝なのです。

世界中を旅し、歳をとったペールはモロッコの海岸で奴隷売買をして大金持ちになりますが、詐欺に逢い全財産をうばわれ、とりのこされてしまいます。

ヤシが生い茂り、ぎどぎど輝く地中海、そこで迎えた朝！～「何というい心持の朝だ。どこを向いても何といふ静けさだ。あ〻自然の喜びに限りはない。」と再出発を期します。

思い出CD：英国の巨匠バルビローリ指揮マンチェスターの古豪ハレ管弦楽団によるエレガントな名盤です。このCDは組曲ではなく劇の進行に合わせた配列になっています。

（樋口　記）

YMCAコーナー

1. 8月1日～8月18日、東陽町コミュニティーセンターで「長崎原爆被災写真」パネル展が開催された。
　長崎の原爆資料館所有の長崎原爆被災写真パネル原子爆弾に関係する貴重な資料の展示を通して、平和といのちの尊さを考える機会となった。

2. 8月8日～8月12日、「キッズワールドカップ in 韓国」がソウルYMCAタラグォンキャンプ場で開催された。
　東京YMCAからは小学生2人と引率スタッフ2人が参加し、名古屋YMCAのメンバーと一緒にチームを組んだ。
　韓国・香港・日本の子どもたちが、サッカー試合やレクリエーション、韓国文化体験等を通して交流を深めた。

3. 今夏、山中湖センター、野尻キャンプ、高尾の森わくわくビレッジを中心に、宿泊キャンプと日帰りキャンプを実施し、約600名が参加した。
　海外キャンプ「ダイナミックサマー」は、ハワイ、ニューヨーク、ボストンの4コースに27名が参加し、無事に終了した。

4. 7月21日～8月8日、東京YMCAとパートナーシップの関係のあるソウルYMCAからインターンとして Kim Jae Seong氏を受け入れた。
　期間中、東陽町センターの語学や国際プログラムを中心にボランティアスタッフとして活躍した。

5. 今後の主な行事予定

・「関東大震災102周年記念 追悼 合同早天礼拝」
　9月1日（在日韓国YMCA9階国際ホール）
　奨励： 李 明生牧師
　　（日本福音ルーテル教会むさしの教会担任牧師
　　　／ルーテル学院大学準教授）

・「2025災害スタディ～防災まち歩き」
　9月20日　東陽町センター
　（共催：社会福祉法人 江東区社会福祉協議会）

・「第39回インターナショナル・チャリティーラン」
　個人ウォーキング（オンライン）：9月20日～27日
　チームウォーキング（オンライン）：9月27日～10月5日
　駅伝大会（都立木場公園）：9月27日

・「ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会」
　11月4日～6日　会場：東京YMCA
　テーマ：「"Our Responsibility for the Future
　　－ To Leave No One Behind"」

・「国際協力一斉街頭募金」
　11月15日　新宿駅周辺

（クラブ担当主事：柳原　記）